



弓削商船だより

独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1000番地 TEL 0897-77-4617 FAX 0897-77-4680
企画広報室 情報・広報係 ホームページアドレス <https://www.yuge.ac.jp>



令和3年度商船学科卒業式、専攻科海上輸送システム専攻修了式（9月）

目次

創基120周年を迎えて	1	第1回オープンキャンパスを実施しました	11
新任教員の紹介	2	令和3年度 次世代の海洋人材の育成	12
令和3年度 前期級長・副級長・学級担任一覧	3	福山市内中学生対象に「出前授業」実施	12
入学式	4	I2航海実習を実施	13
学生会より	4	I2高井神島の海岸清掃ボランティアを実施	13
S5乗船実習	5	各種行事のアルバム	14
クラブ活動報告	7	令和2年度9月～1月資格取得者	15
バスケットボール部・陸上部・弓道部	8	学生相談室	15
留学生紹介	10		

創基120周年を迎えて



校長 石田 邦光

本校は、令和3年度で創基120周年を迎えることとなりました。また、高等専門学校としても、すでに54年の歴史を有しています。

創基120周年及び高専創立50周年を記念し、11月には記念式典が挙行されます。

この機会に、歴史と伝統ある本校の歴史を、少し振り返ってみましょう。

本校は明治34年（1901年）に弓削村外一ヶ村（岩城村）学校組合立弓削海員学校の設置が愛媛県知事より許可され、修業年限3年、生徒定員120名の学校として、この地に誕生しました。1月11日が本校の創立記念日です。

当時の日本海運は、日清戦争を機に飛躍的な発展を遂げていましたが、船腹数の急激な増加に船員の育成が追いつかず、大型船の幹部職員の多くは欧米人で、日本人船員達は、その下で過酷な労働を強いられました。甲種船長の筆頭で実業家でもあった田坂初太郎氏は、こうした日本人船員の屈辱的な実情に怒りを覚え、生まれ故郷である弓削島に海員学校の設立を決意しました。当時の弓削島は教育への意欲が大変高く、村長中村清二郎氏を初めとする村民有志の方々並びに地元で甲種船長や甲種機関長となった有志たちとともに、設立に向けて献身的な努力を払われました。また、明治30年（1900年）には、弓削出身の海員は600名以上もいたそうです。

明治35年（1902年）、甲種商船学校（外国航路の高級船員養成機関）に昇格し、明治41年（1908年）には県に移管され、愛媛県立弓削商船学校と改称しました。

昭和5年（1930年）には機関科が設置され、昭和15年（1940年）に文科省直轄となり、昭和18年（1943年）に運輸通信省所管に、そして、昭和20年（1945年）には運輸省所管になりました。昭和26年（1951年）、再び文科省の直轄となり、弓削商船高等学校と改称しました。

そして、昭和42年（1967年）6月1日に、弓削商船高等専門学校となり、昭和44年（1969年）には機関学科1学級が増設され、航海学科1学級（40名）、機関学科2学級（80名）体制になりました。

その後、昭和60年（1985年）には機関学科1学級を電子機械工学科に改組し、昭和63年（1988年）には、航海学科及び機関学科を商船学科及び情報工学科に改組し、現在に至っていますが、平成16年（2004年）に独立行政法人国立高等専門学校機構弓削商船高等専門学校となり、平成17年（2005年）には専攻科海上輸送システム専攻と生産システム工学専攻が設置されました。

本校は、海運業界の影響を受けながら紆余曲折の変遷を重ねてきましたが、これまでに送り出した学生は約7,800人にのぼり、日本の海運界や地域産業界の発展に多大な貢献を果たして参りました。

これからも、「ものはこび」と「ものづくり」が学べる学校をモットーに、地域や世界で活躍できる人材を社会に送り出すよう、チーム弓削商船は一丸となって取り組んで参りたいと思います。





新任教員の紹介



総合教育科 国語 助教

八原 瑠里

本年度より教育総合科に着任いたしました,八原瑠里と申します。担当科目は国語です。どうぞよろ

しくお願い申し上げます。

私は弓削高等学校を卒業後、立命館大学大学院で日本文学研究に励んでまいりました。高専という環境ははじめてですが、自分の専門をとことん追究し、自分なりの方法で社会に還元するという点では、みなさんの学びと共通するかと思います。

私の研究は、言葉を信用しないところからはじまっています。言葉は便利なものですが、万能ではありません。たとえば「海」という言葉。この言葉から想起される〈海〉のイメージは聞き手によって様々です。瀬戸内海を思い浮かべる人もいれば、エーゲ海を思い浮かべる人もいます。そもそも海を見たことがない人にとっては、海が何かもわかりません。目に見える海でさえこの調子ですから、感情や思考など実体のないものであれば認識の差異は顕著です。言葉をどのよう

に認識するかは個人の経験や価値観に左右されるため、全ての言葉に対する万人の認識が同じということはありません。

それでも私たちは言葉を使わずにられません。言葉が心と心を繋ぐ重要なツールだからです。言葉は万能ではありませんが、一つ一つ根気よく紡げば、点と点が線になるように互いの心を繋げます。それには、自分の言葉が誤解されることを覚悟して、言葉の力を過信せず、相手に伝わる方法で論理的に説明することが大切です。また、相手の言葉に心の耳を傾け、自分の理解を過信せず、相手の立場になって向き合うことも必要です。もちろん、思考の言語化は時間のかかる難題で、それを相手に伝えるのにも勇気がいります。しかし、相互理解するまで対話できれば、互いの視野が広がり、思慮を深め合えます。目の前の言葉に誠実であることは、言葉の向こうにいる誰かに対して誠実であるということではないでしょうか。それは、あなたの傍にいる誰かの心を支える力になるかもしれません。

伝え合うコツを国語という科目を通して皆さんと共有できれば幸いです。



総合教育科 数学担当 助教

柴田 孝祐

2021年4月より採用となりました,柴田孝祐と申します。数学を担当しております。

米子高専建築学科を卒業し、その後、九州大学数学科へ編入学をしました。高専出身ということもあり皆さんと少しだけ近い立場なのかもしれません。

私は可換環論と組合せ論、そして対称群が合わさった分野の研究をしています。(可換)環とは、数や多項式のような足し算や引き算、掛け算があるものの集まりのことです。対称群とは、文字を入れ替える操作の集まりのことです。私は多項式やその集まりと対称群の関係性、そして数え上げについて関心を持っています。特に対称群の表現論というものと多項式の関係性を研究しています。

数学の勉強についてですが、分からなくて悩む人もいます。ですがしっかりと向き合って勉強していきましょう。数学とは言語の一種です。数学とい

う言語を専門科目において使うことが多々あるでしょう。人によっては卒業研究やその先でも使っていくことになると思います。その時に使っている数学という言葉を理解していた方が、授業の内容もすっと頭に入りやすくなるかもしれません。

例えば皆さんは行列といった数学の概念を学ぶことになる、あるいは学んだかと思えます。行列とは数をマス目状に並べたもので、行列は空間内の点を移動させたり、図形を変形させるときに役立ちます。さらに連立方程式を解く際にも重宝しており、画像処理や機械学習などにも応用されているようです。他にも微分積分といったものも学びますが、これも専門科目において非常に重要です。行列や微分積分、そして他の数学を学ぶことでより専門科目への理解も深まると思っています。私自身も高専に通っていた頃、行列や微分積分を専門科目や卒業研究で使っていました。

私自身も皆さんと一緒に様々なことを学んでいきたいと思っています。至らぬ点多々あるとは思いますが、よろしくようお願い申し上げます。



新任教員の紹介



練習船弓削丸 船長

加藤 博

初めまして、4月22日付にて弓削丸船長として本校に赴任致しました加藤 博です。出身は鹿児島

市、本校の卒業生で航海科の高専20期生（航海科85期）になります。本校卒業後は貨客船、フェリー、RORO船、海洋調査船等々に乗船し沖縄航路、北海道航路、日本近海等々を航海していました。まさか自分が母校の練習船船長として赴任するとは考えてもいませんでしたが、良いご縁を頂いたと思っております。

趣味は鉄道好きが長じて旅行好きになってしまったと云う感じでしょうか。

本校を卒業して約30年ぶりに弓削島にきてみましたが、昔の記憶との変わりように少々驚いている感がありますが、変わっていないところも多くあり懐かしさも同様に感じているところです。

クラブ活動は学生の時に所属していた剣道部の顧問となっており、現在は防具をつけるための体作りといったところです。（とても学生達がこなしている練習メニューについていける自信がないので・・・）

本校にて教育に携わること、後輩でもある学生の皆さんの指導を行うことに戸惑うことも数多くあると思いますが、周りの皆様に教えを受けながらやっていきたいと思っています。

練習船である弓削丸の運航には安全を第一として臨むことは勿論、乗船者にも怪我等の無いように強く配慮を行いつつ、効果的な実習の一助になればと考えます。また、今までの海上経験でプラスになると思えることは学生にも伝えていき海技伝承としていければ良いと思います。

最後になりますが、弓削丸の運航、授業、実験実習、クラブ活動、教員活動、全てに全力で取り組んでいきますので、皆様のご指導等、よろしく願いいたします。



令和3年度 前期級長・副級長・学級担任一覧

学 科	学年	級 長	副 級 長	担 任
商船学科	5年	東 数 馬	井 上 伸	湯 田 紀 男
電子機械工学科	5年	鳴 川 匠	徳 岡 青 樹	長 井 弘 志
情報工学科	5年	荒 木 海 渡	岩 崎 花 菜	徳 田 誠
商船学科	4年	枝 常 楽	永 井 達 也	柳 沢 修 実
電子機械工学科	4年	住 田 凌 真	林 葵	河 合 智 賀
情報工学科	4年	向 井 悠 真	勝 田 真 仁	梅 木 陽
商船学科	3年	川 東 大 助	村 上 孝 明	山 崎 慎 也
電子機械工学科	3年	上 野 智 貴	渚 心 人	大根田 浩 久
情報工学科	3年	宗 清 珠 寧	長 畑 桜 弥	富 永 亮
商船学科	2年	田 中 夢 叶	岩 崎 光 希	高 岡 俊 輔
電子機械工学科	2年	井 上 裕 太	山 本 音 桜	大 澤 茂 治
情報工学科	2年	旗 手 康 太	川 本 零 慈	久 保 康 幸
商船学科	1年	岡 田 楓 斗	増 田 恭 成	野々山 和 宏
電子機械工学科	1年	岡 本 壮 希	川 野 裕 豊	日 下 佳 春
情報工学科	1年	東 谷 京 佳	徳 岡 桜	山 本 健 太

入学式

令和3年4月6日(火)に令和3年度弓削商船高等専門学校入学式を挙行し、今年度は本科入学生132名、留学生2名、専攻科入学生11名の計145名の学生が入学しました。

今年度は、入学生、在校生総代、保護者及び教職員のみのお出席とし、座席の間隔を空けるなど、新型コロナウイルス感染予防対策をとった上で式典を挙行しました。

式ではまず、入学許可が行われ、本科入学生及び専攻科入学生による入学宣誓がありました。その後、石田校長から「自然豊かなこの弓削の地で、本校の校訓であります『みなぎる気力と、たゆまぬ努力で、悔いのない学生生活』を送られて、皆さんが大きく成長し、自分の夢を叶えてくれることを願います」と式辞がありました。

続いて、在校生を代表して、商船学科4年の山本悠陽さんが「学校行事のみならず、アルバ

イトや資格取得、留学、TOEICなどにも低学年の時から積極的に挑戦し、悔いのない学生生活を送って下さい」と歓迎の言葉を述べた後、入学生を代表して情報工学科の東谷京佳さんが「考えられること及びできることを仲間とともに実行し、私たちの可能性を広げていきます」と希望に満ちた答辞を述べました。

式に出席した保護者に見守られながら、入学生の弓削商船高専での新たな生活が始まりました。



学生会より

学生会長 山本 悠陽

学生会より本年度のあいさつを申し上げます。私たち前期学生会は全6名で形成されており、前期の学校行事などの企画、運営や校内美化活動といった学生の過ごしやすい校内環境作りに努めさせていただいています。

今年度の前期の主な学校行事としては、校内球技大会や広島商船との2校定期戦などがありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による影響でいずれも中止、縮小せざるを得なくなりました。

特に校内体育大会は多くの学生が楽しみにしている行事であったため開催できなかったことをとても残念に思います。

また、コロナウイルス対策は日々の学校生活でも学生、教職員共に心身に大きく負担がかかり、不安でいっぱいでした。しかし、健康チェック、マスク着用徹底の呼び掛け、消毒など、教職員よ

りご尽力いただき、また学生もコロナ対策への意識を持ったことで、校内で感染者を出すことなく、前期を無事に乗り越えることができたことを、大変嬉しく思います。

そして、後期には商船祭や校内体育大会が予定されています。安全な学校生活を送り、今後の学校行事を楽しむためにも日々の感染対策を徹底していただきたいと思います。

学生会としては、チーム弓削商船の意識はもちろん、上島町の人々と手を取り合うだけでなく、本年をコロナ収束への大きな一年とするため、そして弓削商船本来の学校生活が送れるよう、学生会一同、心を込めて活動させていただきます。

最後になりましたが、今後の本校のさらなる発展と躍進を誓い、あいさつとさせていただきます。

学生会一同

S5乗船実習（社船実習）—LNG船に乗船して—

実習生 鈴木 辰茂

こんにちは！機関士として2021年、川崎汽船株式会社入社予定の鈴木です！

川崎汽船株式会社では、内定者向けに乗船実習最後の6ヶ月を自社の船で実習します。

現在、私と大学生5名が実習生としてLNG船の尾州丸へ4月中旬より乗船しています。かつての旧尾州丸は日本で初めてのLNG船として30年活躍しており、現在の2代目尾州丸は東京電力と中部電力（JERA）のプロジェクト船として、2017年に誕生しました。全長は約293m、形式はモス型、主機は蒸気タービンを搭載しています。本船は主にオーストラリアやパプアニューギニアでLNGを積み、日本の火力発電所へ送り届けています。この1航海を約3週間で行います。

続いて、実習内容について紹介していきます。

本船は13階建てであり、その中で機関士の主戦場となる制御室・機関室は4階分に相当します。1日1日作業内容は異なりますが、主に三等機関士が行う作業を先取りして実習することが多いです。三等機関士の担当機器はボイラ、主機、造水器以外の全ての機器であり、幅広い知識と技術が必要不可欠です。私がそれ

らの作業を行っていく中で大切だと思っていることは、チェンジニアにはならないという事です。チェンジニアは故障した機器をただ取り換えるだけのエンジニアです。取り換えることは簡単ですが、故障した機器を直すことが本来のエンジニアの姿だと思っており、私が目指している機関士像です。

最後に実習外の様子について紹介していきます。

食事は毎食4人のフィリピンコックが作っており、どの料理もとても美味しいです。また、日曜日の夜ご飯にはステーキが登場するので毎週の楽しみになっています。

1日の終わりには実習生や乗組員で集まり、お酒を呑んだり、TVを観て過ごして居ます。週に1度程、フィリピンクルーと合同のパーティーか日本人でのパーティーがあり、リフレッシュしやすい環境にもなっています。ただ漠然としていた先の未来が見え始め、実習生6人で切磋琢磨し合う日々はこれまでの人生には無かった新たな刺激を与えてくれました。



S5乗船実習 (JMETS)

実習生 菅澤 瑛二

私は、7月1日から9月20日までの約3ヶ月間、銀河丸で実習を行いました。

本来4月1日から6ヶ月の乗船実習ですが、新型コロナウイルスの影響により4月1日から3ヶ月間の自宅学習がありました。自宅学習期間の課題は提出する事で、本来、練習船で行われる座学の一部と置き換わりました。

私は3ヶ月という短い乗船期間をより良いものにするために積極的に実習に取り組むという目標を定めました。今回の実習船は最終船でこの実習が終われば私たちは、会社の船で働く事になります。そのためエンジニアとしての知識や技術を向上させる必要があります。特に技術の部分ではポンプの開放、ピストン抜き、補助ボイラの点検など学校では行う事が出来なかった実習がありました。自分の知らない事ばかりで不安でしたが積極的に手を出して実習を行う事で自分自身の能力を高める事ができ毎日が成長の日々でした。

今回の実習では遠洋航海がありました。例年ではシンガポールに行く予定でしたが新型コロナウイルスの影響により日本から4000マイル離れた所を航海しまし

た。長期航海中は3直制(0~4時, 4~8時, 8時~12時の当直)で当直が多く生活が不規則になり慣れない部分もありましたが、当直中は教官からエンジンについて沢山の事を教えてもらいとても良い経験になりました。

また、船には楽しい事も沢山あります。1日の実習が終われば私は釣りをして釣った魚は刺身にして食べました。とれたての刺身は絶品です。また夕方の航海中の船から見える夕日、夜航海している時の星空は絶景です。これは船乗りの特権です。

今回の実習は新型コロナウイルスの影響で3ヶ月という短い期間になりましたが、私はとても良い時間を過ごせたと思います。これから就職して会社の船に乗り最初は分からない事ばかりで大変だと思いますが、今回の実習で学んだ事を忘れずに一流のエンジニアになれるようこれからも頑張っていこうと思います。



ク ラ ブ 活 動 報 告

部活動名	競技	成績	クラス	氏名 (個人の場合)	場所	日程
ソフトテニス部	ソフトテニス競技女子ダブルス	3位	I 3	原 ほのか	丸亀市総合運動公園テニスコート	7月10日(土) 11日(日)
			S 2	浅香 千聖		
サッカー部	サッカー競技	準優勝			高松市立東部運動公園第1サッカー場 瀬戸大橋記念公園球技場	7月9日(金) 10日(土) 11日(日)
バスケット部	バスケットボール競技男子	優 勝			伊予市民体育館	7月10日(土) 11日(日)
	バスケットボール競技女子	優 勝				
柔道部	柔道競技男子団体	準優勝			西条市総合体育館第2格技室	7月10日(土)
	柔道男子個人81kg級	1位	S 5	東 数馬		
	柔道男子個人81kg級	2位	S 5	岡野 大空		
	柔道男子個人81kg級	3位	S 5	吉岡 祐希		
	柔道女子個人57kg級	2位	S 3	荒木かなえ		
剣道部	剣道競技女子団体	優 勝			鳴門・大塚スポーツパーク ソイジョイ武道館	7月10日(土) 11日(日)
	剣道競技男子団体	準優勝				
	剣道競技女子個人	優 勝	S 1	竹村 心		
	剣道競技女子個人	準優勝	I 4	田房 希歩		
	剣道競技男子個人	3位	S 5	宇田 稔啓		
野球部	硬式野球競技	準優勝			春野総合運動公園野球場	7月2日(金) 3日(土) 4日(日)
水泳部	水泳競技女子100m平泳ぎ	3位	S 4	拝郷 法華	香川高等専門学校高松キャンパス水泳プール	7月10日(土) 11日(日)
テニス部	テニス競技女子ダブルス	3位	I 4	村上しずく	今治市営スポーツパークテニスコート	7月2日(金) 3日(土) 4日(日)
			I 4	村上ヒカリ		
弓道部	弓道男子団体	優 勝			※通信大会	7月4日(日)
	弓道男子個人	準優勝	S 2	浅野 紘希		
	弓道男子個人	5位	S 4	寺川 明範		
陸上部	陸上競技男子100m	2位	I 4	三村 志音	西条ひうち陸上競技場	7月17日(土) 18日(日)
		3位	M 3	藤原 翔一		
	陸上競技男子200m	優 勝	I 4	三村 志音		
	陸上競技男子400m	優 勝	S 3	栞田 将渡		
		2位	S 4	仁井田康一朗		
	陸上競技男子800m	3位	S 4	仁井田康一朗		
	陸上競技男子110m H	4位	I 2	小林 大聖		
			M 3	藤原 翔一		
	陸上競技男子4×100mリレー	優 勝	I 4	三村 志音		
			S 3	栞田 将渡		
			M 5	古岡 大空		
	陸上競技男子4×400mリレー	2位	M 3	藤原 翔一		
			S 3	栞田 将渡		
			I 4	三村 志音		
			S 4	仁井田康一朗		
	陸上競技男子走高跳	2位	M 5	古岡 大空		
陸上競技男子走幅跳	3位	M 3	藤原 翔一			
陸上競技男子三段跳	2位	M 5	古岡 大空			
陸上競技男子砲丸投	3位	M 5	徳岡 青樹			
陸上競技男子円盤投	4位	M 5	徳岡 青樹			
陸上競技女子100m	優 勝	I 2	田房 真歩			
陸上競技女子走幅跳	優 勝	I 2	田房 真歩			

※ は全国大会出場。

※弓道部は全国高等専門学校弓道大会中四国予選の成績を記載。



バスケットボール部

私たちバスケットボール部は「アグレッシブ、タフ、思考」をキーワードに主体性にこだわって日々練習に取り組んでいます。その中で「バスケットボールを楽しむ」ということに重点を置いて活動しています。それを実現するために「良い選手=良い学生」を追求し、「良いTEAM」をみんなで作ることを心がけています。

現在はコロナ禍で様々な制限がある中、活動ができる環境を作ってくださいる関係者の皆様への感謝を忘れず、一人一人感染対策を徹底し活動しています。直近の大会では、2021年7月10日～11日に愛媛県伊予市

(伊予市民体育館)で開催された四国地区高専大会で男女共に優勝し、2021年9月3日～5日に宮城県白石市



(ホワイトキューブ)で開催される全国高専大会の切符を勝ち取ることができました。この四国地区高専大会優勝という成績は、男子は2大会連続、女子は創部以来初になります。男子は前回の全国高専大会の予選リーグ2回戦目で終盤に逆転を許して敗退し悔しい思いをしたので、今年こそは全国優勝を成し遂げられるように精一杯戦いたいと思います。

まだまだ未熟なチームではありますが、多くの方から応援されるチームを目指し、コート上でもコート外でも魅力を感じさせられるチームになれるよう日々精進していきます。



陸上部

こんにちは、弓削商船高等専門学校 陸上競技部です。私たちは、5年ぶりの全国高専大会入賞者の輩出、高校総体上位入賞、インターハイ出場を目標に、日々練習に取り組んでいます。

主な活動成績としては、令和3年度 愛媛県高校総体 女子走幅跳 第7位、令和元年度 愛媛県高校総体 男子走高跳 第2位と、近年は高校総体を中心に成績を残しています。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で遠隔授業を強いられ学校での活動ができず、地元でも緊急事態宣言の影響で練習施設を使用することができず、難しいシーズンを過ごすことになりました。高専大会や高校総体など数多くの大会が中止になり、モチベーションを保つ事が難しくなる選手が多かったのですが、令和3年度シーズンに向けての気持ちの切り替えを意識して活動を行いました。

令和4年度に四国地区で開かれるインターハイ出場

電子機械工学科 5年 古岡 大空

と本校主幹開催の全国高専大会での活躍を意識して、部員1人1人が目標を明確に持ち、感染対策に気を配りながら限られた時間を無駄にすることなく練習しています。陸上競技を通じて「心・技・体」を磨いて、大会でのベストなパフォーマンスを発揮できるよう、キャプテンとしてチームを引っ張っていかれたらと思います。



令和3年7月四国高専大会(総合2位)にて



弓道部

商船学科 5年 寺川 明範

こんにちは。弓削商船高等専門学校弓道部です。私たちは、一射入魂、正射必中を心に刻み日々活動しています。今年の弓道部には、1, 2年生9名程度が新たに入部しました。部内では先輩後輩同士の仲がとても良く、弓道を思いっきり楽しめる環境で活動しています。活動日時は平日の早朝と放課後で、県大会や毎年2回開催される高専大会に向けて日々練習に励んでいます。今年も去年に引き続きコロナ禍で思うように活動できず厳しい状況が続いていますが、一人一人が感染対策に十分気を付けながら活動しています。また、大会前には生口島の瀬戸田弓道場で強化練習も行っています。今はコロナの影響により日帰りで練習していますが、コロナ前は泊りで合宿を行ったりもしていました。

今年の第八回全国高等専門学校弓道大会中四国予選はコロナの影響でオンラインでの開催となりましたが、私たちはその逆境を跳ね返し、男子団体優勝、男子個人でも準優勝という好成績を取ることが出来ました。全国大会でも中四国地区の代表であるという自覚を常を持って優勝目指して頑張ってきます。



◎◎◎◎◎ 留学生紹介 ◎◎◎◎◎



情報工学科 3年 ジャルガルサイハン エンフビレグ

私の名前はジャルガルサイハン エンフビレグです。今年二十歳になりました。出身地はモンゴルのウラーンバートル市です。私は両親と姉と

兄、合わせて家族5人です。姉と兄は10歳以上離れていて、甥子1人、姪子3人います。

私はモンゴルの小中高校を卒業しました。その後、モンゴル国立大学に入学して、半年ぐらい授業を受けた後、1年間の休学をして、日本の文部科学省の奨学金を受けるための試験勉強を始めました。

新型コロナウイルスの影響で日本に来るのは半年遅れました。東京日本語教育センターで初めは不安で緊張していましたが、すぐにみんなと友達になりました。日本に来てから日本語の勉強はは

かどり、3か月の勉強の結果で日本語能力試験のN2レベルに合格しました。その後、1月に私は二十歳の誕生日を迎えました。誕生日の前に瀬戸内の小さい島にある高専に行くのが決定して、一番近いコンビニへ船で行くしかないと聞いた友達が「そんなに船に乗るなら、そのまま海賊王になれば」と言って、アニメ「ワンピース」の帽子とTシャツをプレゼントしてくれました。3月、日本語教育センターの卒業試験が終わって、弓削島に来ました。

自分の経験から皆さんには、留学できるチャンスが出たら、ぜひ挑戦してくださいと言いたいです。異文化交流を自分で体験するのは本当に面白くて楽しいことです。いろんなチャレンジを越えるごとに人として成長するし、コミュニケーションの実力も上がるので強くおすすめします。



情報工学科 3年 トブシンザヤ ブフビレグト

私の名前はトブシンザヤ ブフビレグトと言います。私はモンゴルの首都ウラーンバートルにあるバガノールという小さい町に生まれました。

家族は6人で、4人兄弟の2番目です。小さな頃、私の夢は警察官になることでした。父がコンピュータを買ってくれたのをきっかけに、コンピュータに興味を持つようになりました。

高校を卒業して、モンゴル国立大学に入学した後、母親から連絡が来ました。それはモンゴル政府が行っている日本への留学コースでした。このコースに入るため、モンゴル科学大学に入学しました。授業は難しく、高校と全然違うレベルに入ったことがわかりました。先生たちは優しくても、とても厳しい授業でした。模擬試験に何度も失敗しましたが、私はどんどん上達しました。これは私の人生の一番大きなチャレンジだったと思

います。

日本の留学試験を受けた後、コロナが広がって、ウラーンバートルがロックダウンしてしまいました。4ヶ月後、合格が発表されました。合格できると思わなかった科目にも、合格できて本当にびっくりしました。留学が決まりましたが、日本へ行く前に友達と会えなくて寂しかったです。4月が来て、授業が始まりましたが、日本へ行くことができませんでした。オンライン授業は満足できませんでした。でも、6月にやっと日本に来て、学校に来られました。

高専を卒業したら、モンゴルへ帰ると思います。そして、大きな会社で働きたいと思います。モンゴルには行ったことがない場所がたくさんあるので、両親や兄弟とモンゴル全国の旅行をするつもりです。そして、いつか結婚して、新しい家族と一緒に日本へ旅行したいと思っています。



第1回 オープンキャンパスを実施しました

7月17日(土)・18日(日)に、令和3年度第1回オープンキャンパスを実施しました。2日間で、225組、中学生・保護者等を含め522名の方に参加いただきました。

本オープンキャンパスは、午前・午後の2部制で実施しました。第二体育館で全体説明会を行った後、学科イベントを行い、その後は希望者向けに進路相談会や学寮見学、練習船弓削丸の船内見

学を実施しました。

参加者のみなさまからは、「学生から貴重な生の声を聞いた。」「実際にプログラミングを体験でき興味がわいた。」「学校全体の雰囲気がとてもよくて、楽しい時間を過ごせた。」といったご感想をいただきました。

11月6日(土)・7日(日)には、対面による第3回オープンキャンパスを開催予定です。



商船学科イベント



電子機械工学科イベント



情報工学科イベント



弓削丸船内見学



学寮見学



専攻科の紹介

令和3年度 次世代の海洋人材の育成 (海事・海洋分野の人材育成事業の実施)

「OBが学生に語りかける講演会」

期 日：4月27日
開 催 場 所：アセンブリーホール 73名
講 演 者 名：松本 大輔氏
講演タイトル：キャリア教育セミナー

ご講演いただいた松本氏は、弓削商船高等専門学校（航海コース）を2003年に卒業後、日本郵船株式会社に入社し、海上勤務で二等航海士までご経験されました。その後、英語を本格的に学びたくなり日本郵船を退社し、滋賀大学教育学部に入学し、英語教育について学ばれました。在学中は、交換留学制度を利用してタイへ1年間、語学留学をされました。卒業後は、株式会社トヨックスに入社され、タイ事務所にて4年間勤務をされました。業務内容は、マレーシアの企業を中心に配管やホースの営業を担当されていました。日本に帰国後は、商船三井テクノトレード株式会社に転職をされ、専門商社でご活躍をされています。今回のご講演は、外航海運と外航船員になる方法、就職先の考え方、さらには、専門商社についての講義でした。進路選択、就職先を検討している学生には、現場の声を交えた臨場感のあるご説明を頂き、大変貴重な機会になりました。



ご講演の様子



学生からの個別質問とご回答の様子

福山市内中学生対象に「出前授業」実施

5月11日(火)、5月14日(金)に、福山市立城東中学校の生徒160名と福山市立一ツ橋中学校の生徒90名を対象に出前授業を実施しました。これは、9月に開催予定の福山港での弓削丸体験航海に向けた事前学習で、本校商船学科の教員を講師として、授業を実施したものです。内容は、「日本の海運と弓削商船高専」について講演し、海運業界に関する興味を深めてもら

いました。

また、9月に弓削丸体験航海を実施するにあたり、心得や諸注意を行いました。生徒たちは、海から福山市内を見学できるとあって、興味津々の様子で事前学習に取り組んでくれました。海事の啓蒙活動としては、大変有効な講座になりました。



福山市立城東中学校 出前授業の様子



福山市立一ツ橋中学校 体験航海諸注意の様子

情報工学科 2年生

航海実習を実施

弓削商船高等専門学校 情報工学科2年の学生40名が航海実習を実施しました。例年1泊をして工場見学を行うのですが、感染症の影響のため、港には停泊せず2日に分けて実習を行いました。初日の4月14日は

弓削丸の中で航海や機関の基本、船の仕組みなどを学習し、弓削島を一周しながら商船学科の学生がどのようなことを学んでいるのか体験しました。



情報工学科 2年生

高井神島の海岸清掃ボランティアを実施

4月15日、弓削商船高等専門学校 情報工学科2年の学生40名が航海実習の一環として、高井神島の海岸清掃のボランティア活動を行いました。実習船「はまかぜ」で高井神島へ移動し、海岸のゴミ拾いを約1時間行いました。回収したごみは約83キログラムにもなり、住民の方からも「海岸の白いゴミがなくなって

る！」と感謝のお言葉もいただきました。お昼には海岸で弁当を食べたり、島の壁画を見て回り、コロナ禍の遠隔授業や感染対策で、入学後に学生間で交流がほとんどできなかったクラスでの交流の場になったかと思えます。コロナに負けず、彼らの今後のさらなる活躍に期待します。



各種行事の アルバム



入 寮 式 (4月)



図書館オリエンテーション (4月)



S4E航海実習 (6月)



S5N航海実習 (6月)



高専体育大会 (バスケットボール) (7月)



高専体育大会 (野球部) (7月)



S1救命講習 (7月)

令和2年度9月～1月資格取得者

◆海技士（航海）1級

阿部 航大（S5） 山本 悠陽（S3）

◆海技士（航海）2級

江口 喬子（S4） 茂木 佑斗（S3）

◆海技士（機関）2級

高橋 恵（S4）

◆CG-Arts検定

CGクリエイター検定 ベーシック

杉本 紗英（I3） 和田 彩花（I3）

CGクリエイター検定 エキスパート

甲斐帆乃佳（I4）

Webデザイナー検定 ベーシック

山内 七聖（I3）

◆P検 2級

甲賀悠一郎（I1）

◆P検 準2級

奥野 雄大（I2） 笠松 辰治（I2）

東垣 壮真（I2） 樋口 大（I2）

門田 智樹（I2） 山本 琴巳（I2）

山本 爽楽（I2）

◆P検 3級

秋山 真之（I1） 岡田 慈英（I1）

岡田 凜（I1） 岡野 舞依（I1）

岡野 未央（I1） 木村 郁斗（I1）

黒河 天晴（I1） 小林 大聖（I1）

瀬尾 一智（I1） 田名後蒼獅（I1）

田房 真歩（I1） 箱崎 和寿（I1）

箱崎 理瀬（I1） 旗手 康太（I1）

林田 大樹（I1） 松田 優和（I1）

村上 柊太（I1） 村上 侃也（I1）

桃谷 勇汰（I1） 山本 若奈（I1）

◆QC検定 3級

田頭 昌樹（I3）

◆エンベデッドシステムスペシャリスト試験

中神 悠太（I4）

◆ITパスポート

岡 美波（I5） 原 楓子（I3）

弓削商船高等専門学校



学生相談室長
野口 隆

カウンセラー紹介

一人で悩んだり考え込んだりせず、気軽に相談するよう、学生に案内しています。お子さまが困っていらっしゃいましたら、ぜひ学生相談室をお勧めいただき、保護者の方もご利用ください。

曜日	時間	担当
月・火	12:00～18:00	梶谷亜由子 カウンセラー
月	15:00～17:00	春田 裕和 学習相談員
水	12:00～17:00	坂本 和夫 スクール ソーシャルワーカー
木	13:00～18:00	林 祐太郎 カウンセラー
金	12:00～17:00	石丸 雅貴 カウンセラー

予約方法・場所

「保健室」で予約します。図書館の奥の建物の2階にあります。場所がわからなかったら保健室で聞いてください。

在学生に関する相談であれば、ご家族からの相談も受け付けています。

問い合わせ先は、保健室0897-77-4621（学生支援係）です。

毎月、学生相談室だよりを発行し、学校ホームページにも掲載していますのでご覧ください。



相談室ホームページ QRコード